

ひなたぼっこ

大阪高次脳機能障がいセルフヘルプグループ 略称..大阪KSG)では、高次脳機能障がいの当事者同士「仲間」が助け合い支え合いながら、日々の暮らしをいいものにしていききたいと思っています。

- ・前回の振り返り
- ・自己紹介
- ・グループ分け
- ・就労・スポーツ・お出かけ
- ・感想・インフォメーション

平成二九年四月一日(土)。場所は早川福祉会館で、第二二回の高次脳機能障がいサポートグループ「ひなたぼっこの会」がありました。

二二回目の今回は3つのグループ(就労・スポーツ・お出かけ)に分かれて話し合いをしました。

そして今回はゲスト参加者が多かったのが印象に残っています。堺・チャレンジャーと言う当事者グループから

3名。障害年金専門社労士 まつざきさんの社会保険労務士 松崎 洋治さんが参加してくれました。

それでは早速3つのグループに分かれて話してもらいました。

1つ目の就労グループには僕と社労士の松崎さんと参加者2人。話した内容は就労支援は僕たち当事者が片手間にやるものではなくて、十文に計画・準備をした結果やっていく



ものなので、当事者の僕たちだからできる仕事を考えました。小学生の集団登校・下校の付き添い。これは高次脳機能障害の症状に地誌的障害ってやつがあって、難しいことがわかった。でも登下校の付き添いはできなくても、小学校に僕たち高次脳機能障がいの当事者が向いて、自分たちの障害を知ってもらうために授業の一コマを借りて道徳の授業はできそうだな、こんな事なら当事者の僕たちに最適な仕事じゃないかって話しました。2つ目のグループ、スポーツ班はホノルルマラソンにでたい人や趣味で車いすバスケットボールチームをやっている人がいて、今回は自分たちがやってみたことを言ってもらいました。3つ目のグループお出かけ班が一番早く実現できそうで、動物園に出かけたいとか、水族館や植物園にピクニックに行きたいって声があがっていました。まずは僕とグループリーダーの山田さんとで京都市動物園の行きかたを調べるために、下見へ行ってきました。車いすでの移動のしやすさも、調べてきます。そのために電動車いす利用者の僕も下見に行きます。

比嘉の高次脳機能障害との付き合い方。

・自立生活!!!

今回も自立生活について、僕なりの考えを書こうと思います。生活をする上で大切なこと。

それは「自己決定」です。

でもよく考えてください。

僕たち高次脳機能障がいの当事者は自己決定が苦手です。(俺だけかな・・・)

Let's enjoy 自立生活。

